

教育長賞

人と人との輪をつなぐ

堺市立 月州中学校 三年

橘 木 蒼 太

人はなぜ非行や犯罪を起こしてしまうのでしょうか。どうすれば非行や犯罪はなくなるのでしょうか。

非行や犯罪といっても、未成年の飲酒、喫煙、大麻などの違法薬物の使用、詐欺、窃盗など様々なものがあります。

そこで私は、私たちにとって身近な「SNS」による非行や犯罪を例に原因と対策を考えてみました。SNSは娯楽として、知識を得る手段として、世界中の人々とつながる方法として、私たちの世界に確実に溶け込んでいます。なくてはならないものでしょう。

しかし、SNSにも甘い言葉で誘惑されるなど、非行や犯罪の危険が潜んでいるのも事実です。例えば、深刻な貧困を解決するためや、小遣い欲しさの軽い気持ちで自ら足を踏み込んでしまう闇バイトや、バイト先で友人や同僚どうしの軽いノリで起こしてしまうバイトテロなどがあります。

私は、このような非行や犯罪が起こってしまう要因には、学校や家庭に居場所がなく、相談する相手やその間違いを正してくれ

る人がいないことが挙げられると思います。実際私も家族や友達、学校の先生から学ぶことがたくさんあります。

このことから、私は、SNSをはじめとするすべての非行や犯罪を防止するためには、誰もが気軽に話し合える「人と人の輪」が大切だと思いました。このような輪をつなぐためには、ホップ、ステップ、ジャンプが必要です。

まず、ホップは「知ること」です。私はこれまで社会を明るくする運動はおろか、非行や犯罪についてほとんど知りませんでした。この作文を書くにあたり、過去の報道記事や資料などを調べ、この現状について知りましたが、この作文を書くことがなければ、知ることでもなかったでしょう。知ることがなければ行動を起こすこともありません。「知ること」、そして受け入れようとする姿勢は、誰もが安心して「人と人の輪」に溶け込むための第一歩だと思います。

次に、ステップは「行動を起こすこと」です。行動といっても、いろいろな手段があります。その中で、私は今から出来ることと

して家族や友達など、周りの人を大切にしたいと思います。また、私は生徒会役員として、毎朝の挨拶運動をおこなっています。小さなことかもしれませんが、挨拶を交わすだけでも、輪をつなぐきっかけになると思うので、この活動を通して、「人と人の輪」をつなぐ一員になりたいと思います。

そして、私は将来、教師になりたいです。教師として、生徒の小さな変化にも気づき、寄り添い、良い方向に導いていきたいです。

最後はジャンプです。ジャンプは人と人の間にある壁を乗り越え、手と手を取り合い、「人と人の輪」をつなぐことです。これで私の思う非行防止の社会の完成です。

この作文を書く前の私にとって、非行や犯罪は対岸の火事のようなものでした。しかし「社会を明るくする運動」をきっかけに、知り、考えることができました。同じように、この作文が「社会を明るくする運動」の存在をより広めるおてつだいが出来たらうれしいです。そして、「人と人の輪」をつなぐ第一歩であるホップ「知ること」そしてステップ「行動を起こすこと」最終的にはジャンプにつながることを願っています。

